

千葉県病院局標準的な職及び標準職務遂行能力を定める要綱

(趣旨)

第1条 この要綱は、地方公務員法（昭和25年法律第261号）第15条の2第1項第5号及び第2項の規定に基づき、職務の種類及び職制上の段階に応じ、病院局における標準的な職及び当該職に係る標準職務遂行能力を定めるものとする。

(標準的な職)

第2条 標準的な職は、次の表の職務の種類の一部に掲げる職務の種類及び同表の職制上の段階の欄に掲げる職制上の段階に応じ、同表の標準的な職の欄に掲げるとおりとする。

職務の種類	職制上の段階	標準的な職	標準職務遂行能力
1 次部に掲げる職務以外の職務	次長の属する職制上の段階	局長	標準職務遂行能力表（局長職）（別表第1）
	参事、技監、院長又は副院長の属する職制上の段階	部長	標準職務遂行能力表（部長職）（別表第2）
	課長、事務長、総括主幹、診療局長、室長、薬剤部長又は看護部長の属する職制上の段階	課長	標準職務遂行能力表（課長職）（別表第3）
	課長補佐、事務長補佐、診療放射線技師長、臨床検査技師長、副薬剤部長、副看護部長又は副医療安全室長の属する職制上の段階	課長補佐	標準職務遂行能力表（課長補佐職）（別表第4）
	主査、主査補、科統括部長、科部長、科長、看護師長又は副室長の属する職制上の段階	主査	標準職務遂行能力表（主査職）（別表第5）
	主任主事、主任技師、主任保育士、主任社会福祉士、主任精神保健福祉士、主任介護福祉士、主任診療情報管理士、主任医長、医長、主任薬剤師、主任診療放射線技師、主任診療エックス線技師、主任臨床工学技士、主任臨床検査技	主任	標準職務遂行能力表（主任職）（別表第6）

	師、主任理学療法士、主任作業療法士、主任視能訓練士、主任心理療法士、主任歯科衛生士、主任栄養士、主任言語聴覚士、主任助産師、主任看護師及び助産師（3級）又は看護師（3級）の属する職制上の段階		
	主事、技師、保育士、社会福祉士、精神保健福祉士、介護福祉士、診療情報管理士、医師、歯科医師、薬剤師、診療放射線技師、診療エックス線技師、臨床工学技士、臨床検査技師、理学療法士、作業療法士、視能訓練士、心理療法士、歯科衛生士、栄養士、言語聴覚士、助産師（2級以下）又は看護師（2級以下）の属する職制上の段階	主事	標準職務遂行能力表（主事職）（別表第7）
2 技能労働職の職	技能主任、看護補助主任、技能員又は看護補助員の属する職制上の段階	技能員	標準職務遂行能力表（技能員職）（別表第8）

（標準職務遂行能力）

第3条 標準職務遂行能力は、前条の表の職務の種類部に掲げる職務の種類及び同表の標準的な職の欄に掲げる標準的な職に応じ、同表の標準職務遂行能力の欄に掲げるとおりとする。

（委任）

第4条 この要綱に定めるもののほか、標準的な職及び標準職務遂行能力に関し必要な事項は、病院事業管理者が別に定める。

附 則

この要綱は、平成28年4月1日から施行する。

別表第1

標準職務遂行能力表（局長職）

1 倫理	全体の奉仕者として、高い倫理観を有し、医療を担うプロとして局の重要課題に責任を持って取り組むとともに、法令や規律を遵守し、全力をもって職責を果たすことができる。
------	--

2 課題解決・企画	医療を取り巻く状況を的確に把握したうえで、局の重要課題を設定し、解決策を立案するとともに、それを実行することができる。
3 判断・決断	医療情勢や病院運営状況等を踏まえ、病院運営に大きな影響を及ぼす重要な事案について、大局的な見地から妥当性を判断し、的確かつ迅速な意思決定を行うことができる。
4 説明・調整	局を横断する業務について、自らが積極的に局間の調整を行い、関係者相互のバランスを図りつつ、自身の考えを粘り強く説明し、理解・協力を得ることができる。
5 組織運営	市の経営層として、局の使命・役割を明示し、全庁的・長期的な観点から、局の目標を設定するとともに、部下の意欲と能力を最大限に引き出し、成果を上げることができる。
6 育成指導	部下の能力や適性を的確に把握するとともに、職務遂行に必要な能力を身につけさせるなど、育成・指導することができる。

別表第2

標準職務遂行能力表（部長職）

1 倫理	全体の奉仕者として、高い倫理観を有し、医療を担うプロとして担当分野の重要課題に責任を持って取り組むとともに、法令や規律を遵守し、全力をもって職責を果たすことができる。
2 課題解決・企画	医療を取り巻く状況を的確に把握したうえで、担当分野の重要課題を設定し、解決策を立案するとともに、それを実行することができる。
3 判断・決断	医療情勢や病院運営状況等を踏まえ、重要な事案について、大局的な見地から妥当性を判断し、的確かつ迅速な意思決定を行うことができる。
4 説明・調整	病院を横断する業務について、自らが積極的に病院間の調整を行い、関係者相互のバランスを図りつつ、自身の考えを粘り強く説明し、理解・協力を得ることができる。
5 組織運営	病院の使命・役割を明示し、上位目標を踏まえて病院の目標を設定するとともに、部下の意欲と能力を最大限に引き出し、成果を上げることができる。
6 育成指導	部下の能力や適性を的確に把握するとともに、職務遂行に必要な能力を身につけさせるなど、育成・指導することができる。

別表第3

標準職務遂行能力表（課長職）

1 倫理	全体の奉仕者として、高い倫理観を有し、医療を担うプロとして部門の課題に責任を持って取り組むとともに、法令や規律を遵守し、全力をもって職責を果たすことができる。
2 課題解決・企画	医療を取り巻く状況を的確に把握したうえで、所管業務に関する課題を設定し、解決策を立案するとともに、それを実行することができる。
3 判断・決断	医療情勢や病院運営状況等を踏まえ、長期的な視点から、部門の責任者として、所管業務について、迅速かつ的確な判断・決断を行うことができる。
4 説明・調整	部門を横断する業務について、適切に調整等を行い、関係者相互のバランスを図りつつ、自身の考えを粘り強く説明し、理解・協力を得ることができる。
5 業務遂行	知識・技能・情報等を活用し、目標達成に向け、計画的かつ効率的に業務を遂行することができる。
6 組織運営	部門の使命・役割と所管業務の意義を明示し、上位目標を踏まえて課の目標を設定するとともに、部下の意欲と能力を最大限に引き出し、成果を上げることができる。
7 部下指導・人材育成	部下の能力や適性を的確に把握し、指導により職務遂行に必要な能力を身につけさせ、行動を引き出すとともに、仕事を通じた育成指導について部門としての計画を立て、実践することができる。

別表第4

標準職務遂行能力表（課長補佐職）

1 倫理	全体の奉仕者として、高い倫理観を有し、医療を担うプロとして所管業務の第一線において責任を持って課題に取り組むとともに、法令や規律を遵守し、全力をもって職責を果たすことができる。
2 課題解決・企画	医療を取り巻く状況を的確に把握したうえで、組織や上司の方針に基づいて所管業務に関する課題を設定し、解決策を立案するとともに、それを実行することができる。
3 判断・決断	医療情勢や病院運営状況等を踏まえ、長期的な視点から、所管業務について、迅速かつ的確な判断・決断を行うことができる。
4 説明・調整	部門を横断する業務について、適切に調整等を行い、関係者相互のバランスを図りつつ、自身の考えを粘り強く説明し、理解・協力を得ることができる。

5 業務遂行	部門の所管業務の円滑な遂行のため、部門内外の連絡調整を行うとともに、知識・技能・情報等を活用し、目標達成に向け、計画的かつ効率的に業務を遂行することができる。
6 組織運営	部門長を支援し、部門の目標の設定、達成に向けた部門の統率等について積極的に意見を述べるとともに、部下の意欲と能力を最大限に引き出し、成果を上げることができる。
7 部下指導・人材育成	部下の能力や適性を的確に把握し、指導により職務遂行に必要な能力を身につけさせ、行動を引き出すとともに、仕事を通じた直接的な育成指導を行うことができる。

別表第5

標準職務遂行能力表（主査職）

1 倫理	全体の奉仕者として、高い倫理観を有し、医療を担うプロとして責任をもって所管業務に取り組むとともに、法令や規律を遵守し、全力をもって職責を果たすことができる。
2 課題解決・企画	所管業務に係る課題を的確に把握し、解決策を立案するとともに、それを実行することができる。
3 判断・決断	医療情勢や病院運営状況等を踏まえ、長期的な視点から、所管業務について、迅速かつ的確な判断・決断を行うことができる。
4 説明・調整	関係者相互のバランスを図りつつ、自身の考えを粘り強く説明し、理解・協力を得ることができる。
5 業務遂行	上位目標を踏まえ所管業務の目標を設定し、適切な業務分担の下、目標達成に向けて知識・技能・情報等を活用し、計画的かつ効率的に業務を遂行することができる。
6 組織運営	部門の使命・役割に基づき組織目標を設定するとともに、部下の意欲と能力を最大限に引き出し、成果を上げることができる。
7 育成指導	部下の能力や適性を的確に把握するとともに、職務遂行に必要な能力を身につけさせるなど、育成・指導することができる。

別表第6

標準職務遂行能力表（主任職）

1 倫理	全体の奉仕者として、高い倫理観を有し、医療を担うプロとして責任をもって担当業務に取り組むとともに、法令や規律を遵守し、全力をもって職責を果たすことができる。
------	--

2 課題解決・企画	担当業務に係る課題を発見し、解決策を立案するとともに、それを実行することができる。
3 判断・決断	医療情勢や病院運営状況等を踏まえ、上司や同僚の指示・指導をもとに、担当業務について迅速かつ的確な判断・決断を行うことができる。
4 説明・調整	関係者相互のバランスを図りつつ、自身の考えを粘り強く説明し、理解・協力を得ることができる。
5 業務遂行	所管業務の目標設定に参画し、知識・技能・情報等を活用し、目標の達成に向け、担当業務を適切かつ円滑に遂行することができる。
6 育成指導	同僚の勤務状況を把握するとともに、自らの知識や経験を活かして業務について積極的に説明・支援するなど、職務遂行に必要な力が身につくよう協力することができる。

別表第7

標準職務遂行能力表（主事職）

1 倫理	全体の奉仕者として、高い倫理観を有し、医療を担うプロとして責任をもって担当業務に取り組むとともに、法令や規律を遵守し、全力をもって職責を果たすことができる。
2 課題解決・企画	担当業務に係る課題を発見し、解決策を立案するとともに、それを実行することができる。
3 判断・決断	医療情勢や病院運営状況等を踏まえ、上司や同僚の指示・指導をもとに、担当業務について迅速かつ的確な判断・決断を行うことができる。
4 説明・調整	関係者相互のバランスを図りつつ、自身の考えを粘り強く説明し、理解・協力を得ることができる。
5 業務遂行	所管業務の目標設定に参画し、知識・技能・情報等を活用し、目標の達成に向け、担当業務を適切かつ円滑に遂行することができる。

別表第8

標準職務遂行能力表（技能員職）

1 倫理	全体の奉仕者として、高い倫理観を有し、医療を担うプロとして責任をもって担当業務に取り組むとともに、法令や規律を遵守し、全力をもって職責を果たすことができる。
2 業務遂行	知識・技能・情報等を活用し、目標達成に向け、担当業務を計画的かつ効率的に遂行することができる。
3 支援・指導	同僚の勤務状況を把握するとともに、業務について積極的に説明・支援するなど、職務遂行に必要な力が身につくよう協力することができる。

